



# あなたと博物館

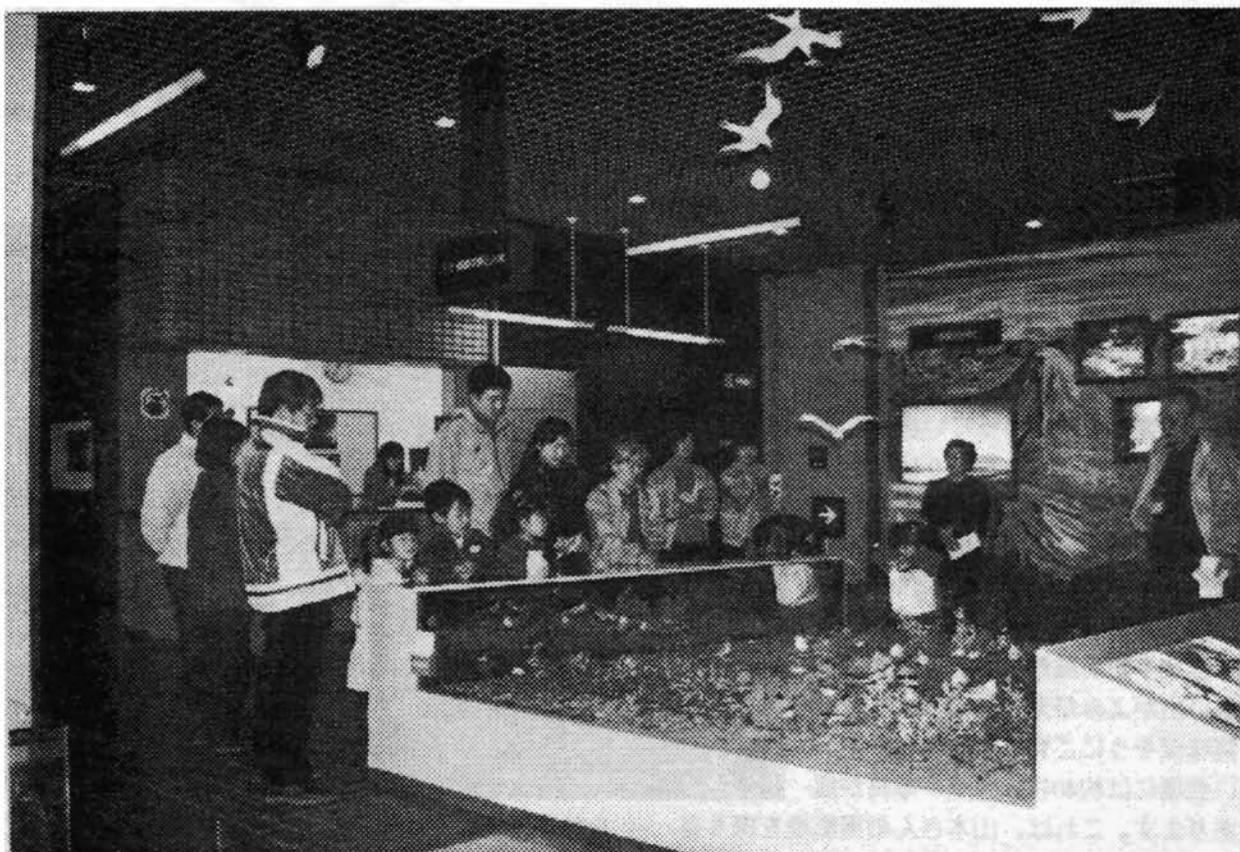
HIRATSUKA CITY MUSEUM

2001. 4月号

ただいま奮闘中

## 展示解説ボランティアの会

博物館の展示は、物が主役。解説パネルなどの量には制約が付きまといます。しかし、そのせいで物から何をどのように読み取ればよいのか、解説が不足してしまうという事態も起こりがちです。そこで博物館では、展示のご案内のため、市民ボランティアによる解説サービスを実施しています。明るい黄色のジャケットを着たスタッフを見つけたら、気軽に声をおかけください。



1階展示室「川原の生きものたち」での解説風景

### 展示解説ボランティアの会

会長 田村 壽

当博物館では展示品の解説をボランティアが担当している事をご存知でしょうか。平成11年4月に展示解説ボランティアの会として発足し、本格的に活動を開始してまもなく2年になります。解説に必要な研修を受講後、他館のボランティア活動状況の見学や市内の遺跡調査など幅広く、来館者に喜ばれる解説ができるよう知識の吸収に努めております。私達は各自週1回の解説・月2回の打合せ会を通じて、如何にしたら来館者の皆さんに、博物館の面白さを分っていただける解説ができるか、会員全員が心がけております。来館の節は私達に気楽に声をかけてください。面白くて楽しい博物館でお待ちしております。

**新規会員募集中**：学芸員から展示物の詳細な説明を受けられます。市民の目線での解説に期待しています。あなたの個性を生かしてください。 ■問い合わせ：0463-33-5111 平塚市博物館 展示解説ボランティアの会係

# 写真で見る20世紀の平塚(4)



左：湘南平から  
旭方面を望む  
(昭和34年6月)

下：現在の眺め



3月17日から始まった特別展「思いでの風景 思いでの人びと 山本登写真展」会場は、連日大勢の観覧者でにぎわっています。神奈川の自然と人々の暮らしを撮り続けた山本登さんの数々の作品のうち、特別展会場には戦後から昭和38年までに撮影された平塚の写真パネルを約150枚展示しています。当時を知る人は、お化け煙突と呼ばれた須賀の四本煙突や駅前風景などとの再会に懐かしい思い出がよみがえり、若い人も昔の平塚に興味深そうにご覧になっています。

また、会場には約40枚のカラー写真が展

示してあります。これは、山本さんの撮影地を探り当てて、同じ場所から撮影した現状写真で、半世紀間の変貌を知るために展示しましたが、現状写真を並べると場所がどこなのか分かりやすくなるという効果もあるようです。それだけ、風景は大きく変貌してしまったのでしょう。

たとえば、昭和34年に湘南平から撮影された旭地区の写真。万田と出縄、日向丘の丘陵に囲まれた平地に家はほとんど無く、水田の中に盛り上がる小山が目にとまります。これは丸山といって出縄にあり、頂上に石祠が祀られている山で、現在も同じ高さを保っているのですが、すっかり目立たなくなりました。それはまわりに家が、それも団地やマンションなどの高いビ

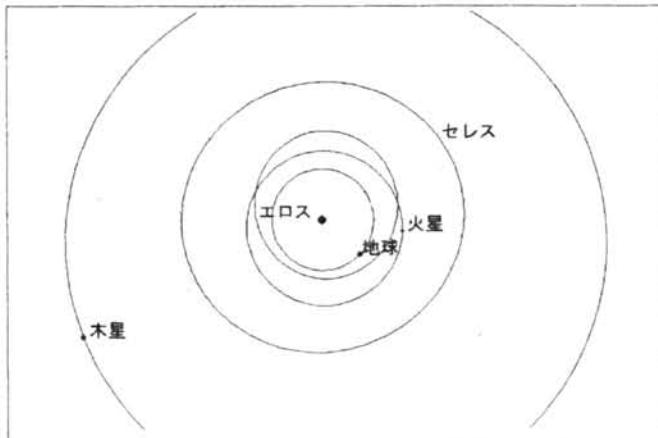
ルが建て込んだためです。この丸山を見ていると、昔読んだ絵本「小さなうち」の切ないストーリーが思い起こされます。水田は住宅で埋め尽くされ、丘陵の裾は新幹線や小田原厚木道路の車が飛び交い、畑と雑木林が美しかった丘は造成され、新興住宅地に変わりました。江戸時代天保年間の旭村の戸数は349戸。昭和29年7月15日に平塚市と合併した当時は約600戸と緩やかに増加はしていましたが、昭和60年には約9,000戸といきなり10倍以上に膨れ上がりました。昭和40～50年代の20年間にもたらされた生活環境の変化は、もしかしたら江戸時代から昭和30年代までの300年以上に匹敵する、いやそれ以上の激変ぶりであったといえるのではないのでしょうか。

# プラネタリウムのご案内 小惑星200年史

小惑星は、主に火星と木星の間で太陽を回る小さな惑星です。一番大きなもので直径1000kmと、月の1/3もないくらいです。小惑星は200年前まではその存在すら知られていなかったのです。今回のプラネタリウムの話題は、発見から200年経って、太陽系の一員としてその存在が大きくなった小惑星をとりあげます。

## ◆小惑星の発見

最初の小惑星が発見されたのは、1801年1月1日、19世紀の最初の晩でした。イタリア・シシリー島のパレルモ天文台のピアッチが発見し、セレス、と名づけられました。その後、火星と木星の間に位置する小惑星は次々に発見され、いままでに8,000個以上の小惑星の軌道が知られるようになりました。



惑星と小惑星(セレス、エロス)の軌道

## ◆なぜ、火星と木星の間に

18世紀末に、天王星が発見された頃、火星と木星の間に惑星が存在すべきである、という考えが広まりました。それは、惑星軌道の大きさを表すボーデの法則から導き出されるからでした。しかし発見されたセレスは他の惑星に比べ、大変小さく、それ以後発見された小惑星を集めてもとても少ないものでした。きっと、ここには惑星の材料となる小さな天体がそのまま残っ

てしまったのだろう、と考えられています。

## ◆小惑星はいくつある？

小惑星の発見は20世紀に入って急激に増え、観測された数は四万個にも上ります。そして、今、地球に近く小惑星の危険性が指摘されるようにもなり、直径1km以上の小惑星の動きを捉えよう、という観測もされるようになってきました。いまや小さなものをふくめると数百万個はあると言われるようになってきました。

## ◆直接調べる事が始まった。

写真は小惑星エロスのクローズアップです。エロスは長径が33km、短径が13kmほどのジャガイモのような形をしています。こんなに小さな天体は地球からは形をはっきりと捉えることは出来ません。これはニア・シューメーカー探査機がエロスに接近して撮影したものです。いま、いくつかの探査機が小惑星に近づいて直接調べ始めました。小惑星の誕生の秘密をさぐり、ひいては太陽系誕生のなぞにも迫れるからです。



小惑星エロスのクローズアップ

●この内容は6月3日までです

●土日曜 11:00、14:00 ●観覧料100円

★中学生以下の観覧料が今月より無料になりました。  
高校生は従来通り第2、4土曜が無料日です。



## ★特別展「思いでの風景 思いでの人びと—山本登写真展」

開催中 (5月6日まで)

●あなたの古写真も展示させてください。昭和20年代、30年代の写真をお持ちの方、お寄せください。

#会期中に展示し、終了後お返しいたします。

#複写をさせていただき、博物館に保存します。

連絡先：0463-33-5111 平塚市博物館 学芸担当 浜野

●展示図録販売中：A4判・64頁・900円

# 博物館カレンダー

\*\*\*\*2001年4月\*\*\*\*

1	日	☆ 寄贈品コーナー「人文新資料」 (~4月29日)	展示室
		☆ プラネタリウム「南半球の星空」 (~4月8日)	プラネ室
4	水	民俗探訪会分科会	特研究室
5	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
6	金	古文書講読会	講堂
7	土	地質調査会	野外
8	日	○ みんなで調べよう「身近な林調べ」	科学室
		○ 特別展記念行事「50年前の平塚を歩こう」	野外
12	木	石仏を調べる会	特研究室
13	金	古文書講読会	講堂
14	土	民俗探訪会「説明会」	講堂
		◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
		☆ プラネタリウム「小惑星200年史」 (~6月3日)	プラネ室
15	日	○ 体験学習「家紋凧を作ろう」	科学室
		◎ ろばたばなしの会	展示室
		相模川の生い立ちを探る会	講堂
18	水	裏打ちの会	科学室
		民俗探訪会分科会	特研究室
19	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
20	金	古文書講読会	講堂
21	土	地質調査会	科学室
22	日	古代遺跡を探す会	野外
		民俗探訪「比々多神社春祭り」	伊勢原
26	木	石仏を調べる会	特研究室
27	金	古文書講読会	講堂
28	土	空襲と戦災を記録する会	特研究室
		○ こども観察会	野外
		◎ 星を見る会「月を見よう」	屋上
		天体観察会「ガイダンス」	科学室

## ○こども観察会「春の湘南平」

好季節の湘南平周辺を歩き、自然を観察しましょう。  
 日 時：4月28日(土) 午前9時~午後3時  
 場 所：浅間山~湘南平周辺  
 申込み：往復はがきで4月14日(土)までに博物館へ  
 定 員：30名(多数の場合は抽選)

## ◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えたりします。  
 日 時：4月14日(土) 9時30分~11時  
 場 所：平塚虹ヶ浜海岸  
 申 込：参加自由ですが初めてのの方は往復はがきで申し込んでください。折り返し集合場所等ご案内します。

## ◎星を見る会「月を見よう」

月齢4.8の月を望遠鏡で眺めます。迫力あるクレーターを楽しみましょう。  
 日 時：4月28日(土) 19時~20時30分  
 場 所：博物館科学教室・屋上。参加自由

\*\*\*\*2001年5月\*\*\*\*

2	水	民俗探訪会分科会	特研究室
		☆ 寄贈品コーナー「自然新資料」 (~6月3日)	展示室
6	日	○ 水辺の楽校自然観察会	相模川
10	木	石仏を調べる会	特研究室
11	金	古文書講読会	講堂
12	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
13	日	地質調査会	野外
16	水	裏打ちの会	科学室
		民俗探訪会分科会	特研究室
		プラネタリウム「幼稚園投影」 (~7月6日)	プラネ室
17	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
18	金	古文書講読会	講堂
19	土	地質調査会	科学室
20	日	◎ ろばたばなしの会	展示室
		民俗探訪会「八幡神社鹿島踊り」	小田原
24	木	石仏を調べる会	特研究室
25	金	古文書講読会	講堂
26	土	空襲と戦災を記録する会	特研究室
		○ 自然観察会「コアジサシの観察」	相模川
		○ みんなで調べよう「身近な林調べ」	科学室
		天体観察会「望遠鏡の使い方」	屋上
27	日	古代遺跡を探す会	野外
		相模川の生い立ちを探る会	山北町
		天体観察会「望遠鏡の使い方」	屋上

☆：展示(無料)・プラネタリウム(観覧料)

○：申込制 ◎：自由参加 無印：年間会員制

## ☆寄贈品コーナー「新資料紹介(人文部門)」

最近寄贈していただいた資料の中から、歴史・考古・民俗に関連するものを紹介します。  
 期 間：3月31日(土)~4月29日(日)  
**☆プラネタリウム「小惑星200年史」**  
 火星と木星の間に散らばる小惑星が初めて発見されたのは1801年でした。小惑星観測の歴史を中心に地球をとりまく太陽系について解説します。  
 期 間：4月14日(土)~6月3日(日)  
 投影日：土・日曜日 11時、14時  
 観覧料：100円(中学生以下無料)

## ◎ろばたばなし

展示室民家のいろりばたで民話を聞きましょう。  
 日 時：4月15日(日) 13時30分、15時  
 場 所：展示室民家。参加自由

## ○「水辺の楽校」生きもの調べの会

相模川川原に整備された自然に親しむエリアで観察をします。  
 日 時：5月6日(日) 9時~12時  
 場 所：相模川(馬入川原)  
 申 込：参加自由ですが初めてのの方は往復はがきで申し込んでください。折り返し集合場所等ご案内します。

あなたと博物館 26巻 1号 通算291号 発行 平塚市博物館 2800

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 TEL:0463-33-5111 FAX:0463-31-3949

E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>